

徹して無駄を削除

実績報告

民間の経営感覚で 市政に取り組む!

会社経営を26歳より約30年間行って参りました。その経験を活かし先ずは、原価意識を高く持ち、公共性に配慮しつつ『合理的・効率的』に節約できる無駄を削除、その財源を教育や福祉、又、未来への投資に役立てます。そして、正の循環による【自立した尼崎】を目指します。

01. 尼崎市のコンピュータシステム大改革の章 年間「約4億円」のコスト削減が実現!

私の指図、提案にて【約42年】続いた市のコンピュータシステムの随意契約、ついに終止符!オープン化により年間4億円以上削減。
【市政報告】久保高章NEWS 第37号より

02. 教育環境改善の章 小・中学校にエアコン設置、中学校給食が実現!

私の1年間の訴えがついに実現!市がようやく動き出す!平成27年度から3年間で、全小中学校に空調設置、その後中学校給食を実施。
【市政報告】久保高章NEWS 第37号より

03. 市の市債(借金)に対する金利削減の章 市債金利「約5億円」の削減が実現!

繰り上げ返済や尼崎市民公債による金利負担の軽減を要望!繰り上げ返済可能な債務を低金利に借換え、約5億円の削減。
【市政報告】久保高章NEWS 第38号より

04. 市全体の電気料金見直し大改革の章 市全体の電力統括課と電気料金「約4億円」の削減が実現!

市全体の電力統括を決定!新電力活用により4億円削減が実現!市全体の電気料金を把握、新電力を活用してコストダウンに。
【市政報告】久保高章NEWS 第39号より

詳しい内容は【市政報告】久保高章NEWSをご覧ください。*ご希望の方はご連絡ください。

削

年間480万円(120万円×4名)の皆様の税金を【一般財源】として活用! ※現状の人数の場合



尼崎市議会「維新の会」は、平成28年11月より【自らの報酬から毎月10万円拠出】し政務活動を行っています。政務活動を否定するものではなく、議員報酬の削減が他党派の賛同を得られなかった為、自らの報酬を政務活動費に充てる手段を取りました。「維新の会」は、この【身を切る改革】を実行し、その覚悟をもって【役所改革】を行って参ります。

身を切る改革始動。



久保高章 くぼ たかあき プロフィール

学歴
1976年 関西大学第一中学校 卒業
1979年 関西大学第一高等学校 卒業
1989年 関西大学 商学部 卒業
2010~13年 関西学院大学 法学部 聴講
経歴
2013年 維新政治塾 一期生修了
2013年 尼崎市議会議員 初当選
<2016年 文教委員会>

1960年生まれ<56歳>
株式会社栄和(代表取締役)
家族構成/妻、一女一男
趣味・特技/剣道二段、釣り
サイクリング



「この市政報告は、自費作成しています」

10億 削減の章、始めます。

電気料金4億円の削減は序章。新たな無駄を【徹底的】に削除!!

久保高章NEWS

市政報告 なんとかしよう!「あまがさき」第40号

くぼ たかあき 日本維新の会

徹して
民間の経営感覚で市政に取り組む。
無駄を削除!



尼崎市議会議員

【維新の会】副幹事長

久保高章後援会事務所
〒661-0023 尼崎市大西町1-2-20
大塚ビル1-4

TEL.06-6427-1295
FAX.06-6427-1295



10億 削減の章、始めます。

市政・市議会活動報告
なんとかしよう!「あまがさき」第40号

【発行日】2017年5月1日
【発行責任者】久保 高章

携帯 090-8148-4748

メール kubo4748@yahoo.co.jp

【ブログ】http://ameblo.jp/kuboama/
【URL】http://kubotakaaki.com/blog/

next step ① 東高校跡地売却額と周辺路線価との差額及び
土壌対策費用の疑問?

平成29年度予算において、東高校跡地売却(22,000㎡)による歳入予算10億3千万円が計上されました。しかし、周辺の路線価は坪約42万円に対して、跡地売却額は坪約15万円と約3分の1の価格となっています。

平成28年度予算においては不動産鑑定士の鑑定により、13億9千万円、坪約20万円としていました。しかし、鑑定資料は未だ頂けていません。平成29年度については、昨年ヒ素フッ素が検出された為、土壌対策費に3億6千万必要でコストダウンされたようですが、その土壌対策費も業者への見積もりは行っていません。この売却価格の明確な根拠を説明して頂くよう、追及いたします。



稼ぐ
解明

next step ② 基金運用による2.6億円の利益拡大
受取利息の増加を図る!

尼崎市の主要3基金(貯金)運用をα市に習い、受取利息の増加を図る

尼崎市は、平成27年度において、平均運用日額146億5千万円、運用利回り0.135%、受取利息1,980万円に対し、α市は、平成27年度月末平均運用残高131億5,700万円、運用利回り1.922%、受取利息2億5,285万円でした。もし尼崎市がα市と同じ利回りで基金を運用したと仮定すると、受取利息は2億8,157万円と現在の14.2倍で差額2億6,177万円が純粋な利益となります。この運用利回りで得た利息は、税込アップの場合と違い、基準財政収入額には算入されず、地方交付税の減額にならないため、自治体の純粋な利益となります。

より良い『基金運用』を考える!



▲土地売却の疑問解明

▲稼ぐ仕組みをつくる▲

10億 削減の章、始めます。
新たな無駄を【徹底的】に削除!!

next step ① next step ② next step ③

▼制度・仕組みの疑問

next step ③ 業務委託の収支報告の有無?!市に対して報告
されている事業とされていない事業?

市が直営で行っていた事業を現在業務委託という形で、民間委託しています。現在、500万円以上の業務委託は、13局(総務局・市民協働局等)で198の業務委託を行っています。事業報告の有無については全て行われています。しかし、収支報告については198業務の内、46事業となっています。この業務委託において収支報告の提出の有無についての明確な基準が策定されていません。しかし、指定管理者制度は、41施設で管理して頂いており、全てで指定管理団体より事業報告並びに収支報告が提出されています。先ほどの業務委託と指定管理の違いと収支報告の有無の違いを明確にしたいと考えています。

制度

疑問



正の循環による、
「自立した尼崎」を目指します!

まず、徹底した無駄の削除と稼げる仕組みづくりに注力し、増えた財源を基に他市にない市民サービス、市内企業サービスの向上を図っていきます。それによって尼崎に人や企業が集まり、結果としてより稼げる自治体となります。

そして、その増えた財源を活用し、更なる将来投資を行って、より良い尼崎をつくっていきます。



この正の循環による【自立した尼崎】
そんな尼崎を最終ゴールとして目指していきます。

久保くぼたかあき 高草